事業番号

0132

	政፟፟፟፟፟	事業レ	ビュー	ーシート(内				閣府)							
事業名 プロフェッショナル人材			トル人材事業に	に必要な経費			担当部	局庁	政策統括官(経済財	怪済財政分析担当)		1	作成責任	者
事業開始年度	治年度 平成26年度 事第			終了 !) 年度	平成27年	年度	担当	課室	地方創生推	進室		参事官	村上敬亮		
会計区分	一般会	会計													
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	_					関係する通知		「まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015改訂版)」(平成27年 12月24日閣議決定)						成27年	
主要政策・施策	地方創生					主要		その他の事項経費							
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	に参画	本事業は、地域産業全体の活性化を図るために、地域の中小企業に対し、都市圏の大企業等のプロフェッショナル人材が、地域の中小企業の事業経営に参画する等、地方への新しい人の流れを作る仕組みを構築する。													
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	(5行程度以内。 等による経営(サポート)人材等のマッチング等を行う。								た合ポータ	ルサイトの					
実施方法	委託•	請負													
				2!	5年度		26年度		27年度			28年度		29年度要求	
		当初予算			_	<u> </u>	-		_			_			
	l!	補正予算			_	<u> </u>	1,511					_			
予算額・	予算の状		前年度から繰越し		_	 	- A 1.511	-+	1,511						
執行額 (単位:百万円)	況		その繰越し 備費等		-		▲ 1,511						-		
(40.6311)															
	計		0			0		1,511		0		0			
	執行額		_					596 39%							
		執行率(%)			_			\perp	39% T				中間目標	■ 日輝.	最終年度
成果目標及び成		定量的な成果目標 			成果指標			単位	25年度	264	丰度	27年度	29 年月		年度
果実績(アウトカム)	プロフェッショナル人材戦 略拠点等の相談件数					成果実績	件				2,186				
(ア・フトルム)			相談件数	女		目標値	件				3,000	12,000	1	3,000	
****				1001	欄についてさらに記載が必		達成度	%	to I Friday	31-27	and the last of th	72.9			
成果日 種	人及び	灭果美積			てさらに記載	か必	要な場合に						チェック	ケウンチョ	= 17
活動指標及び活 動実績	プロフェッショナル人材戦略]指標 				単位	25年度	度 26年度		27年度	28年度活動見込		己込
リチ模(アウトプット)				拠点を各	·道府県に設置	量	活動実績当初見込み	ケ所				45			
	算出			·····································	根拠			ヶ所 単位	25年度	264	丰度	46 27年度	28:	年度活動身	 見込
単位当たり						単位当たり	百万円				13				
コスト				(X)	X)		計算式	X/Y				596/45			
			材戦略拠点設置数(Y)			nı yı ıı									
平	歳出予算目 28年度当			刀予算 29年度要求						主	な増減	理由			
2			-	-		4									
単 8 位 2 <u>:</u> 9															
· 5 百年 万度 円予)算															
円子 一															
内															
訳	計		0		0										

	政	(策	t 4. 地方創生の推進 											
	施	策	⑧地方創生リーダー人材の育成・普及の推進											
			定量的指		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標年度				
			プロフェッショナル人材戦略拠点等の相談件数			件			2,186					
政策評	溴定					件			3,000		13,000			
評価	測定指標 	揮	定量的指		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 年度				
		_	プロフェッショナル人材戦略拠点	実績値	ヶ所			45						
			ノロンエンンコナリレハイヤク 平以岬口ンピデ	目標値	ヶ所			46						
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係													
	ショ	ョナノ	は、地方創生の実現に向け、 レ人材の活用を促進し、最終的	地域産業全体の活性化ないには、民間ビジネスとし	************************************	の中小企 から地域	業の生産性への円滑なん	ーーーー 向上を図る勧 人材還流が行	テわれること	等を目指して	いる。平成27年			
	を利を利	ョナノ は、4 積み 事業	レ人材の活用を促進し、最終的 45道府県に拠点を整備し、1月15 上げている。また、相談件数に の取組が地域に浸透し、着実に	地域産業全体の活性化でには、民間ビジネスとし 質から本格的に活動を 比例し、成約件数も徐々	および地域 て、都市圏 開始した。名 パにあがって	の中小企 から地域 M. M. M	業の生産性 への円滑なん 地域内の多 果は出つつる	 向上を図る観 人材還流が行 くの企業との ある。	テわれること	等を目指して	いる。平成27年			
	ショ 度 l を和 本 ³	ョナノ は、4 積み 事業	レ人材の活用を促進し、最終的 15道府県に拠点を整備し、1月1 上げている。また、相談件数に の取組が地域に浸透し、着実(分野:	地域産業全体の活性化でには、民間ビジネスとし 質から本格的に活動を 比例し、成約件数も徐々	および地域 て、都市圏 開始した。名 パにあがって	の中小企 から地域 M. M. M	業の生産性への円滑な、地域内の多果は出つつるに繋げていく	 向上を図る観 人材還流が行 くの企業との ある。	テわれること	等を目指して 進めており、着	いる。平成27 着実に相談件			
	シ度を本改項	ョナル は、 積み 事業 革	レ人材の活用を促進し、最終的 45道府県に拠点を整備し、1月15 上げている。また、相談件数に の取組が地域に浸透し、着実に	地域産業全体の活性化。 には、民間ビジネスとし 夏から本格的に活動を見 比例し、成約件数も徐々 こ成果を挙げていくこと・	および地域で、都市圏開始した。名は、あがって、地方創ま	の中小企 から地域 M. M. M	業の生産性 への円滑なん 地域内の多 果は出つつる	 向上を図る観 人材還流が行 くの企業との ある。	テわれること	等を目指して	いる。平成27: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
7	シ度を本改項(第一	ョ は 積 事 革 I I	レ人材の活用を促進し、最終的 15道府県に拠点を整備し、1月15 上げている。また、相談件数に の取組が地域に浸透し、着実(分野: - KPI	地域産業全体の活性化。 には、民間ビジネスとし 夏から本格的に活動を見 比例し、成約件数も徐々 こ成果を挙げていくこと・	および地域医ので、地域医ので、地域医ので、地域医ので、地方ので、地方創ま	の中小企 から地域 各拠点は、 ており、成 生の実現	業の生産性への円滑な、地域内の多果は出つつなに繋げていく	向上を図る 人材還流が? くの企業との ある。 。	テわれること: コンタクトを;	等を目指して 進めており、記 中間目標	いる。平成27: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
アクシ	シ度を本改項(第一階層)	ョ は 積 事 革 I I	レ人材の活用を促進し、最終的 15道府県に拠点を整備し、1月15 上げている。また、相談件数に の取組が地域に浸透し、着実(分野: - KPI	地域産業全体の活性化。 には、民間ビジネスとし 夏から本格的に活動を見 比例し、成約件数も徐々 こ成果を挙げていくこと・	および地域で、地域で、都内で、都内にあがって、地方創まで、地方創まが、地方の表が、もの表が、との表が、もの表が、もの表が、との表が、もの表が、との表が、との表が、との表が、との表が、との表が、との表が、との表が、と	の中小企 がら地域には、 大便点は、成 生の実現	業の生産性への円滑な、地域内の多果は出つつなに繋げていく	向上を図る 人材還流が? くの企業との ある。 。	テわれること: コンタクトを;	等を目指して 進めており、記 中間目標	いる。平成27: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
シ経ョカン・	シ度を本改項(第一階層)	ョ は 積 事 革 I I	レ人材の活用を促進し、最終的 15道府県に拠点を整備し、1月1 上げている。また、相談件数に の取組が地域に浸透し、着実に 分野: - KPI (第一階層	地域産業全体の活性化。 には、民間ビジネスとし 夏から本格的に活動を見 比例し、成約件数も徐々 こ成果を挙げていくこと・	および地域医ので、地域医ので、地域医ので、地域医ので、地方ので、地方創ま	の中小企 から地域 各拠点は、 ており、成 生の実現	業の生産性 への円を か域内のつる は出つつる に繋げていく 計画開始時 年度	向上を図る 人材還流が? くの企業との ある。 。	テわれること: コンタクトを;	等を目指しており、素中間目標年度	いる。平成27: 音実に相談件: 目標最終年 年度			
ション・プ	シ度を本改項(第一階層)(第	ョ は 積 事 革 目	レ人材の活用を促進し、最終的 15道府県に拠点を整備し、1月15 上げている。また、相談件数に の取組が地域に浸透し、着実(分野: - KPI	地域産業全体の活性化。 には、民間ビジネスとし 夏から本格的に活動を見 比例し、成約件数も徐々 こ成果を挙げていくこと	および地域で、地域で、都内で、都内にあがって、地方創まで、地方創まが、地方の表が、もの表が、との表が、もの表が、もの表が、との表が、もの表が、との表が、との表が、との表が、との表が、との表が、との表が、との表が、と	の中小企 がら地域には、 大便点は、成 生の実現	業の生産性への円滑な、地域内の多果は出つつなに繋げていく	向上を図る 人材還流が? くの企業との ある。 。	テわれること: コンタクトを;	等を目指して 進めており、記 中間目標	いる。平成27年			
ション・プ	シ度を本改項(第一階層)(第	ョは積事 革目 KPI KPI K	レ人材の活用を促進し、最終的 15道府県に拠点を整備し、1月1 上げている。また、相談件数に の取組が地域に浸透し、着実/ 分野: - KPI (第一階層	地域産業全体の活性化。 には、民間ビジネスとし 夏から本格的に活動を見 比例し、成約件数も徐々 こ成果を挙げていくこと	および地域で、地域で、都内で、都内にあがって、地方創まで、地方創まが、地方の表が、もの表が、との表が、もの表が、もの表が、との表が、もの表が、との表が、との表が、との表が、との表が、との表が、との表が、との表が、と	の中小企成の中小企成から地点は、 を受ける。 を対しました。 を生の実現 単位 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業の生産性 本の生産性 本の円内のつな に繋げていく 計画開始時 年度	向上を図る 人材還流が行くの企業との ある。。 27年度	テわれることで コンタクトをデ 28年度	等を目指しており、素中間目標度中間目標	いる。平成27: 音実に相談件: 目標最終年 年度 目標最終年			
ション・財	シ度を本改項(第一階層)(第	ョは積事 本目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	レ人材の活用を促進し、最終的 15道府県に拠点を整備し、1月1 上げている。また、相談件数に の取組が地域に浸透し、着実/ 分野: - KPI (第一階層	地域産業全体の活性化。 には、民間ビジネスとし 夏から本格的に活動を見 比例し、成約件数も徐々 こ成果を挙げていくこと	および地域を表する。ない、おいまで、おいまで、おいまで、からいまで、からいまで、からいまで、からいまで、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	の中小企の中小企の中小企の中小企の中小企の中小企の中小企の中では、成立をできた。 単位 学位	業の生産性 本の生産性 本の円内のつな に繋げていく 計画開始時 年度	向上を図る 人材還流が行くの企業との ある。。 27年度	テわれることで コンタクトをデ 28年度	等を目指しており、素中間目標度中間目標	いる。平成27: 音実に相談件: 目標最終年 年度 目標最終年			
ション・プログラ紹済・財政再生	シ度を本改項(第一階層)(第二階層	ョは積事 本目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	レ人材の活用を促進し、最終的 15道府県に拠点を整備し、1月1 上げている。また、相談件数に の取組が地域に浸透し、着実/ 分野: - KPI (第一階層	地域産業全体の活性化はには、民間ビジネスとし には、民間ビジネスとし 頂から本格的に活動を見 比例し、成約件数も徐々 こ成果を挙げていくこと・	およるない。 はないないは、はないないは、はないないは、はないないがあった。 ないのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の中小企域から地点は、成子地点は、成まり、表現の実現 単位 %	業の生産性なの生産性なの内内のついくが、大きなのでは、大きないでは、またないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、またないでは、大きないでは、またないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まない	向上を図る 人材還流が行くの企業との ある。。 27年度	テわれることで コンタクトをデ 28年度	等を目指しており、素中間目標度中間目標	いる。平成27: 情実に相談件 目標最終年 年度			
ション・プログラ紹済・財政再生	シ度を本改項(第一階層)(第二階層	ョは積事 本目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	レ人材の活用を促進し、最終的 15道府県に拠点を整備し、1月1 上げている。また、相談件数に の取組が地域に浸透し、着実/ 分野: - KPI (第一階層	地域産業全体の活性化はには、民間ビジネスとし には、民間ビジネスとし 頂から本格的に活動を見 比例し、成約件数も徐々 こ成果を挙げていくこと・	およるない。 はないないは、はないないは、はないないは、はないないがあった。 ないのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の中小企域から地点は、成子地点は、成まり、表現の実現 単位 %	業の生産性 本の生産性 本の円内のつな に繋げていく 計画開始時 年度	向上を図る 人材還流が行くの企業との ある。。 27年度	テわれることで コンタクトをデ 28年度	等を目指しており、素中間目標度中間目標	いる。平成2 情実に相談化 目標最終: 年 目標最終:			

事業所管部局による点検・改善									
				目		評価	評価に関する説明		
国	事業の目	的は	国民や社会のニーズを的	確に反映して		0	本事業は、プロフェッショナル人材の地方還流を通じて、地 方創生を実現していくための施策であり、国民や社会のニー ズを的確に反映している。		
費投入の必要	地方自治	台体、চ	民間等に委ねることができ	ない事業な <i>0</i>	りか。	0	本事業は、地方創生に資する取組である一方で、現時点では、地方自治体や民間等に全てを委ねることは困難である。 本事業は、地方自治体、民間事業者等を巻き込んだスキームとなっており、ゆくゆくは、そうしたプレーヤーによる自立した取組となっていくことを目指す。		
(世	政策目的 事業か。		成手段として必要かつ適り	別な事業か。	政策体系の中で優先度の高い	0	本事業の政策目的は、人的支援を通じた地方創生の実現である。まち・ひと・しごと総合戦略の実現の鍵となるものであり、最優先事業の一つである。		
	競争性が	が確保る	されているなど支出先の選	選定は妥当か	\ ₀	0			
			∳入札、総合評価入札又は L又は一者応募となったも		企画競争)による支出のうち、	無	・支出先の選定に当たっては、企画競争等の方式により、第 三者の委員により構成される採択審査委員会等を開催し、 専門的かつ厳格な審査を行っており妥当である。		
事	競	争性σ)ない随意契約となったも	のはないか。		無			
業	受益者と	の負担	旦関係は妥当であるか。	·		-			
の効率	単位当た	こりコス	ト等の水準は妥当か。			0	各拠点の人員体制や本事業の活動内容を踏まえれば妥当な水準となっている。		
性	資金の流	流れの	中間段階での支出は合理	的なものとな	いているか。	0	支出に際しては、証憑類の確認を実施しており、合理的なものとなっている。		
	費目・使	途が事	業目的に即し真に必要な	ものに限定る	されているか。	0	費目及び使途は、最小限のものとなるよう定期的に確認し、必要に応じて指導を行う。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)						委託先との契約時に、必要な額を絞り込んだことに加え、各地域で拠点開設時期にバラツキがあり、実質稼働期間が当初想定よりも短くなったため。		
	その他コ	スト削	減や効率化に向けた工夫	は行われて	いるか。	0	外注等にあたり相見積もりを求める等、コスト削減に努めて いる。		
事	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。						事業実施にあたっては、より効果的な手段を採用し、目標に 見合った実績が得られた。		
業の有			たって他の手段・方法等か コストで実施できているか。		場合、それと比較してより効果	0	事業実施にあたっては、より効果的な手段を採用し、目標に見合った実績が得られた。		
効	活動実績	責は見る	込みに見合ったものである	か 。		0	事業実施にあたっては、より効果的な手段を採用し、目標に 見合った実績が得られた。		
性	整備され	た施設	とませる といま とり	されているか	0	-	元 りた 大根が付われた。		
			がある場合、他部局・他府 体的な内容を各事業の右		な役割分担を行っているか。	-			
			管府省·部局名	事業番号	事業名	1			
関									
連事									
業									
		1 -		* E + ch m +	7-1	ナ '悪 '太 ! っ !	ᆝ		
点検・改	点検結	果 しっ	ている。	よ、企画競争	などの方式により、第三者の委		より、地方創生の実現を図っていくため、重点的に予算を配分 構成される採択審査委員等を開催し、専門的かつ厳格な審査		
善結果	改善 <i>0.</i> 方向性		見時点では、支出先の選別 どに適切に取り組んでいく	実施されている。今後も引き続き、事業の効率化、コスト削減					
					外部有識者の所見	Į			
占給	付象外								
スノ	3 80-71,								
					行政事業レビュー推進チー	ムの所見	ŧ		

事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証するとともに、予算の効率的執行に努めるべき。

現状通り

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況 現 精査の結果、支出先の選定方法が適切に行われ、概ね想定通りの成果も出ている。今後も引き続き、事業の効率化、コスト削減など、効率的執 状 行に取り組んでいく。 通 IJ 備考 民間人材マーケット 地域の企業 求職者 従来事業 からの脱却 (気づき) 戦略実現を 担うプロ人材 ニーズ明確化 新事業開発 新販路開拓等 求職者 (時めの経費) 求職者 プロフェッショナル人材戦略拠点 ・経営者の気づきを促進 ・人材ニーズを明確化 市場を活用しマッチングその後もフォローアップ ・地域金融機関と選携し、「攻めの経営」への転換促進 ・プロ人材ニーズを明確化し、その採用をサポート ・関係者との選携・サポートをコーディネート 民間人材ビジネス 事業者 ・人材あっせん・研修の 専門家 ・都市部大企業の求職者 地域金融機関 ・地域企業の成長可能性 に関する目利き ・地域企業との信頼関係 REVICの子会社 実践的なノウハウ等を提供する研修経営診断やアドバイス等のコンサルティング、人 材のマッチング ・ 各地域においてバイロット事業を展開 関連する過去のレビューシートの事業番号 平成23年度 平成22年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 ※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 内閣府 596百万円 ・各道府県に設置するブロフェッショナル人材戦略拠点のフォローや、研修・セミナー等を行う全国事務局 の運営およびボータルサイトの構築・保守を民間事業者に委託 ・プロフェッショナル人材戦略拠点の設置・運営を各道府県に委託 **資金の流れ** (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

【委託:総合評価入札(公募)】

B. 民間事業者

3百万円

・ボータルサイトの構築・保守

【委託: 随意契約】

C. 地方自治体(道府県)

436百万円 • 各道府県のブロフェッ

ショナル人材戦略拠点の

運営を地方自治体(道府 県)が実施

【委託: 企画競争入札(公募)】

A. 民間事業者

157百万円

各拠点のフォローや、研

務局の運営

修・セミナー等を行う全国事

質日 関			A.みずほ	情報総研株式会社		B.株式会社オーエムシー					
おいてブロックご		費 目			金額(百万円)	費目	使 途			金額(百万円)	
が支出されている 者について記載 委託費		費	プロフェッショ 営にかかる紹	ナル人材戦略全国事務局運 San		委託費	プロフェッショナル人材戦略ポータルサイト 構築・保守にかかる経費			3	
する。費目と	する。費目と使途 の双方で実情が 計		四位 70 0年天		157	計	将来 体引にががる社員			3	
	分かるように記 載) C.地		治体(東京	京都、沖縄県を除く45追	(有県)			D.			
	費			使 途	金額(百万円)	費目	使 途			金 額 (百万円)	
委託費		費	プロフェッショ かかる経費	ナル人材戦略拠点の運営に	436						
		計	10 TO WILE		436	計				0	
	費目・	使途欄に	ついてさらに	記載が必要な場合はチェック	2】に記載		チェック				
支出先上 A.	上位10者リ	リスト									
	支 出 先	法	人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	競争性のない 理由及	- 者応募又は 随意契約となった び改善策 D億円以上)	
1 みずほ (株)	卡情報総研	9010	0001027685	プロフェッショナル人材戦 略全国事務局の運営	157	随意契約 (企画競争)	3				
В											
3	支 出 先	法	人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	競争性のない。 理由及	- 者応募又は 随意契約となった び改善策)億円以上)	
1 オーエ	1 オーエムシー(株)		101039249	プロフェッショナル人材戦 略ポータルサイトの構築・ 運営	3	総合評価入札	3			は予定価格ががあることから	
С											
3	支 出 先		人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	競争性のない。 理由及	- 者応募又は 随意契約となった び改善策 D億円以上)	
1 長野県	Į	1000	020200000	プロフェッショナル人材戦 略拠点の運営	25	随意契約 (その他)	-	-			
2 兵庫県	Į	8000	020280003	プロフェッショナル人材戦 略拠点の運営	18	(その他)	_	-			
3 山口県	Į	2000	020350001	プロフェッショナル人材戦 略拠点の運営	18	随意契約 (その他)	-	-			
4 愛知県	Į	1000	020230006	プロフェッショナル人材戦 略拠点の運営	16	(その他)	-	-			
5 広島県	Į	7000	020340006	プロフェッショナル人材戦 略拠点の運営	14	(その他)	-	-			
6 滋賀県	Į	7000	020250007	プロフェッショナル人材戦 略拠点の運営	14	(その他)	-				
7 鳥取県	Í	7000	0020310000	略拠点の連宮		随意契約 (その他)	-				
8 大阪府	Ŧ	4000	020270008	プロフェッショナル人材戦 略拠点の運営	13	随意契約 (その他)	-	_			
9 北海道	9 北海道		0020010006	プロフェッショナル人材戦 略拠点の運営	13	(その他)	-				
10 岡山県		4000	4000020330001 プロフェッショナル人材戦略拠点の運営		13	随意契約 (その他)		_			
;	支出先上位	10者リス	欄について	さらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3					コ チェック		
国库库型	5名 伊尔勒	生に レス	初约生上从	510冬11フト							
国庫債務負担行為等			人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	競争性のない。 理由及	- 者応募又は 随意契約となった び改善策)億円以上)	